

レザークラフト初心者でも
使いやすい型紙を



レザークラフト型紙シリーズ013

シンプルな革のリュック

Written by ShiAN

注意事項

この文書の著作権は、革工房 ShiAN に帰属します。この文書に掲載されている内容は、革工房 ShiAN の許可なく改ざん・販売・配布又はそれに相当する行為を行うこと禁じます。

印刷に関して

印刷をする際は拡大縮小をせずに原寸大で印刷してください。

各型紙にはサイズを確かめるための 5 mm の正方形が記載されています。

印刷した型紙の正方形が 5 mm の正方形になっているか計測して、

サイズの確認をしてからご利用ください。

革工房 ShiAN

013_リュック

この説明文はあくまでも型紙のおまけです。

革工房 ShiAN でリュックを作る際の、制作工程を書かせていただきます。参考程度にご覧ください。（コバや床面の処理に関しては記載しておりません）

① 革を切り取る（型紙通りに革を切り取ります）

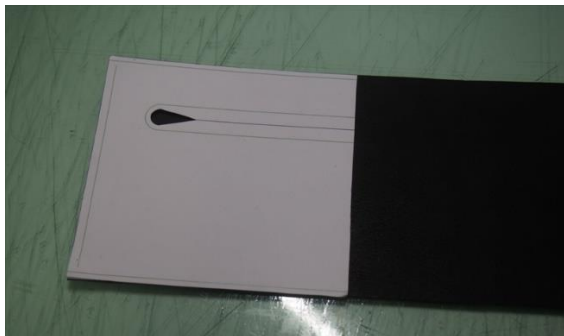
リュックの型紙は一つ一つのパーツが大きくなります。

そのため、一部の型紙は A3 サイズ 2 枚に印刷して、つなぎ合わせて使用します。

また、マチパーツに関しては、単純な長方形のため、
型紙には長方形の寸法のみを記載しています。

型紙に記載の寸法を元に革に直接長方形を罫書いて切り取ってください。

マチパーツ上のファスナー固定位置に関しては、下の写真のように一番端の部分だけ型紙を利用してファスナー固定位置を決めています。



今回の作品において、

ファスナーはできるだけ見えないようなデザインになっています。

そのため、ファスナー部分（ポケットとマチパーツ上）に関しては、

開口部を直線で切るだけになっており、開口部の切り口に幅は持たせていません。



直線で切るだけです。

② ポケットの作成

まずはポケットパーツにファスナーを仮留めします。

仮留めはゴムのりでもいいですし、両面テープでもいいです。

（幅3mmの両面テープが使いやすいです。）



ファスナーの上下を縫います。



下のマチになる部分をゴムのりで仮留めします。

銀面どうしを仮留めするので、やすりで表面を荒らしておくと接着力が増します。



両サイドを仮留めしたら縫い合わせます。



最後にひっくり返して内側からしっかりとマチ部分を押し出して、形を整えたらポケットの完成です。



③ ポケットの取付

メインパーツの前面に先ほど作成したポケットを取り付けます。

まずは、メインパーツにポケットの取り付け位置となる線を罫書きます。。

このとき、下部分に関しては線を罫書きません。

下部分に関しては、ポケットの出来次第で微妙に取り付け位置が変わってくるからです。

上部の中心部分を基準にポケットを仮留めしていき、下部に関しては出来高で調整して仮留めします。



ゴムのりでポケットを仮留めします。



ポケットの周りをぐるっと縫い合わせます。



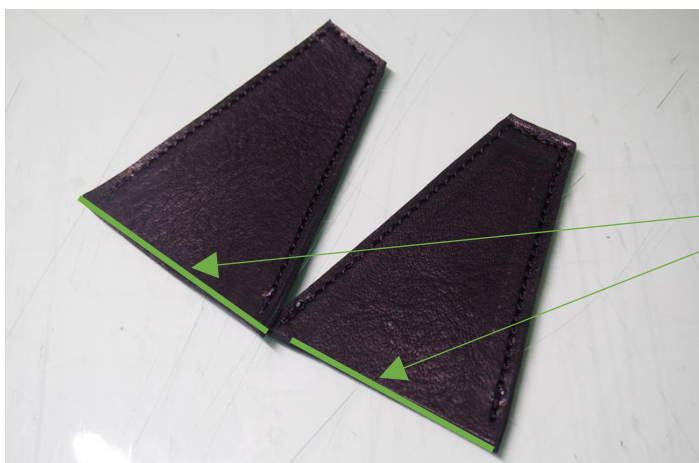
④ 背面パーツの作成

背面パーツを作成します。

ゴムのりで2枚のパーツを張り合わせます。



縫い線部分を縫います。2セット作ればひとまず完成です。



この直線はまだ縫いません

⑤ 肩紐の作成

肩紐の作成も難しいところはありません。

肩紐の型紙どおりに切り抜いた革をゴムのりで張り合わせて、
両サイドを縫ったら完成です。

なお、手で触れる可能性の高い場所なので、ヘリ落としとコバ磨きをしっかりやっておくと、
使い心地の向上につながります。

文章にすると単純ですが、縫う距離が長いので、2セット作るのは結構大変です。



⑥ 接続パーツ上の取付

メインパーツ背面に接続パーツ上を取り付けます。



まずは、接続パーツ上で金具を挟みます。

使用している金具は真鍮の角カンになります。

ちなみにファスナー以外の金具は真鍮で統一しています。

サイズ

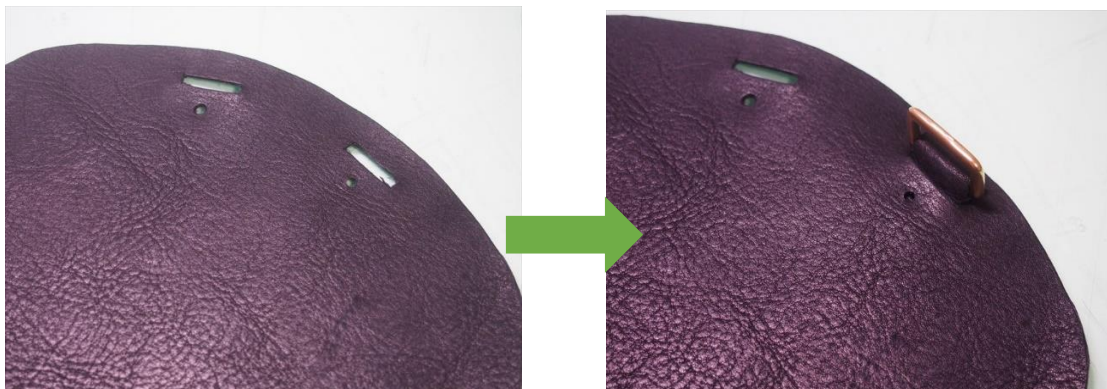
〈外寸〉約 幅 32mm × 高さ 20mm : ベルト幅 24mm 用

Amazon で購入するなら以下のものなどになります。

<https://amzn.to/2uGMk2H>



この状態でメインパーツ背面の上部の穴に差し込みます。



そして、両面カシメを使って固定します。

使用しているカシメは頭の直径が9 mmのものです。

Amazon で購入するなら以下のものになります。

<https://amzn.to/2uGKhM7>



⑦ マチパーツの作成

マチパーツ上にファスナーを取り付けます。

まずは両面テープを使ってファスナーを仮留めします。

距離が長いので大変ですが、最初に中心部分を固定して、
中心から両端に向かって固定していくとずれが出にくいと思います。



仮留めできたら、ぐるっと縫い合わせます。



マチパーツ上とマチパーツ下をゴムのりで仮留めして縫い合わせます。



なお、マチパーツ下の型紙に

「正確に革を切る自信がない人はこの部分の寸法を少し長めにしておき、後から出来高を見て調整することをお勧めします。

まずは 600 mm くらいにしておけば問題ないかと思います。」

と記載してあります。

少し長めで 600 mm のマチパーツ下を切り取っている場合は、

マチパーツ上とマチパーツ下は片側のみを縫い合わせてください。

両側を縫い合わせてしまうと、マチパーツが円形になるため、後から長さの修正ができなくなります。



両サイドを縫い合わせてしまうと、後から調整ができないので、この時点ではどちらか片方は縫い合わせなくても OK です。

⑧ マチパーツとメインパーツの取付

マチパーツとメインパーツ前面を縫い合わせていきます。

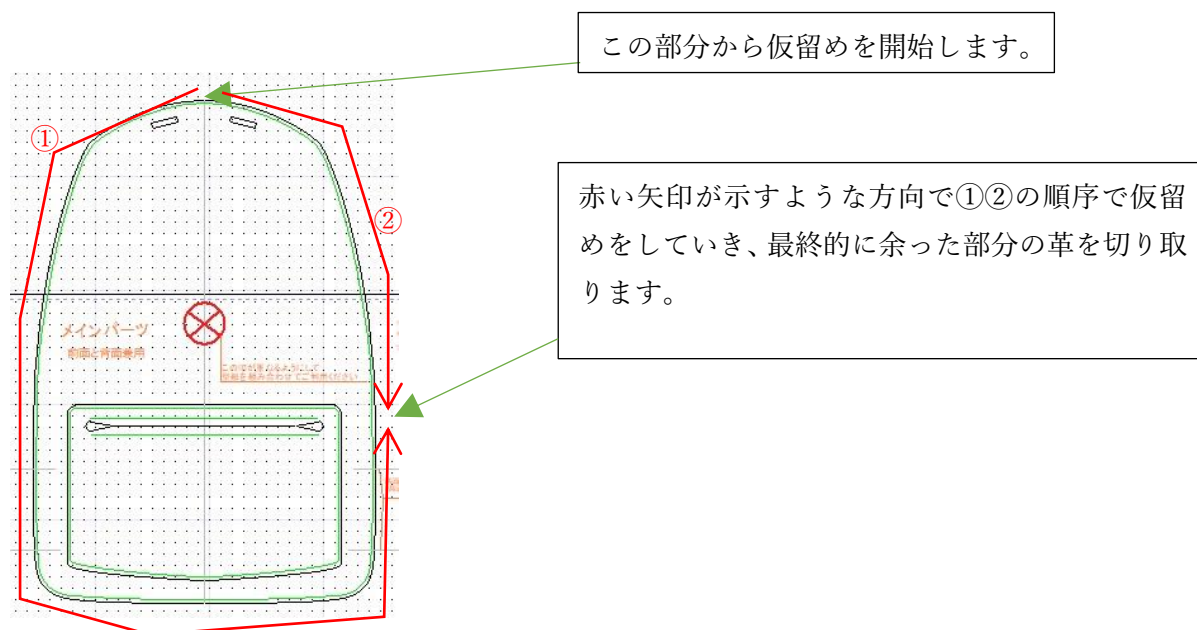
内縫いになるので、まずは銀面どうしをゴムのりで仮留めします。



このとき、メインパーツ前面の上部の中心部分とマチパーツ上の中心部分から仮留めしていきます。

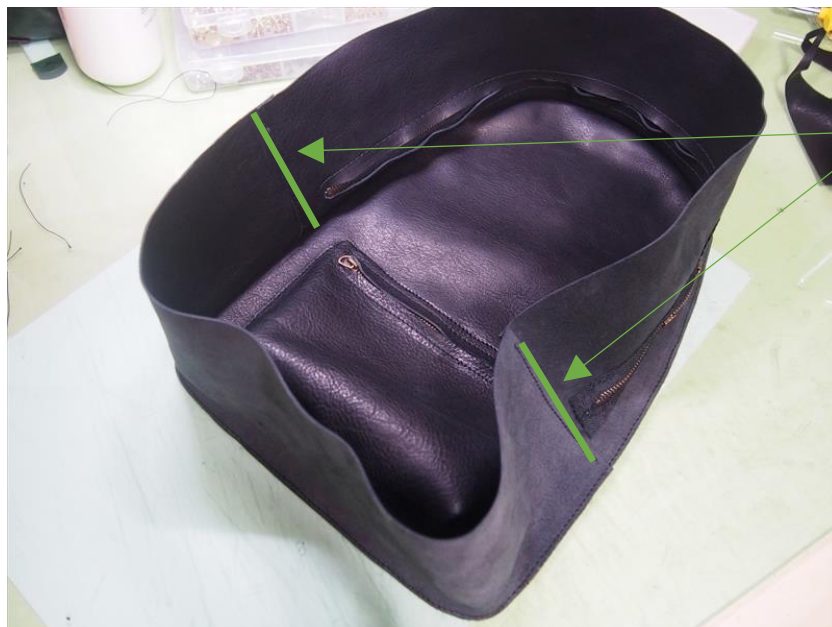
マチパーツの片側を縫い合わせていない状態の場合は、ここで長さを調整します。

ゴムのりで仮留めしていくと、最後に縫い合わせていない部分が少し余る形になると思います。余った部分を切り取って長さを調節します。



マチの長さ調整ができれば縫い合わせていきます。

この時点で、マチパーツの片側を縫い合わせていない場合はマチとメインパーツ前面の縫い合わせをした後で、縫い合わせておきます。



この時点で両サイドとも縫い合わせてある状態にする

マチパーツ背面に背面パーツをゴムのりで仮留めします。



次にマチパーツとメインパーツ背面をゴムのりで仮留めしていきます。
このとき、マチパーツのファスナーを少し開けておくようにしましょう。
ファスナーを閉めたまま、縫い合わせてしまうとファスナーを開けるのが大変です。



一周ぐるっと縫います。
縫い終わってファスナーを開けると以下のようなかんじです。



ここで内側からひっくり返します。

縫い合わせた部分をしっかりと内側から押し出して、形を整えてやります。

この時点でだいぶリュックの形になります。



⑨ 肩紐の取付

肩紐を取り付けていきます。

接続パーツ上と両面カシメを使います。

使用したカシメはアマゾンで購入する場合、以下のものです。

<https://amzn.to/2FSRy0A>



メインパーツ背面の角カンに接続パーツ上を通して両面カシメで固定します。



同様にもう片方も固定します。

⑩ 長さ調整ベルトの取付

肩紐に長さ調整ベルトをカシメで固定します。

使用したカシメはアマゾンで購入する場合、以下のものになります。

<https://amzn.to/2FXdcRs>



⑪ 接続パーツ下の取付

背面パーツに接続パーツ下を取り付けます。

まずは、接続パーツ下の真ん中の穴に美錠を取り付けます。

使用している美錠はアマゾンでは販売されていなかったなので、
楽天のものを紹介します。

<https://a.r10.to/hvXw3Q>



接続パーツ下で背面パーツを挟むようにしてカシメで固定します。
使用したカシメはアマゾンで購入する場合、以下のものです。

<https://amzn.to/2FSRy0A>



長さ調整ベルトを美錠に通せば完成です。

完成写真





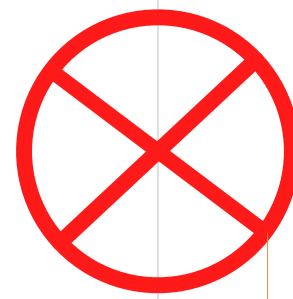






メインパーツ

前面と背面兼用



この印が重なるようにして
型紙を組み合わせてご利用ください

用紙サイズ: A3

推奨厚さ1.5mm

大きさ基準四角形
(5mm正方形)



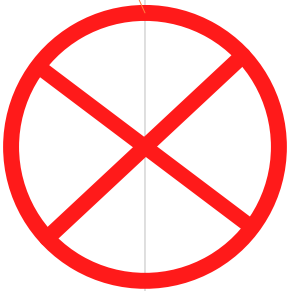
背面パーツ固定位置
(背面のみ)

接続パーツ上固定位置(背面のみ)



メインパーツ
前面と背面兼用

この印が重なるようにして
型紙を組み合わせてご利用ください



用紙サイズ:A3


推奨厚さ1.5mm

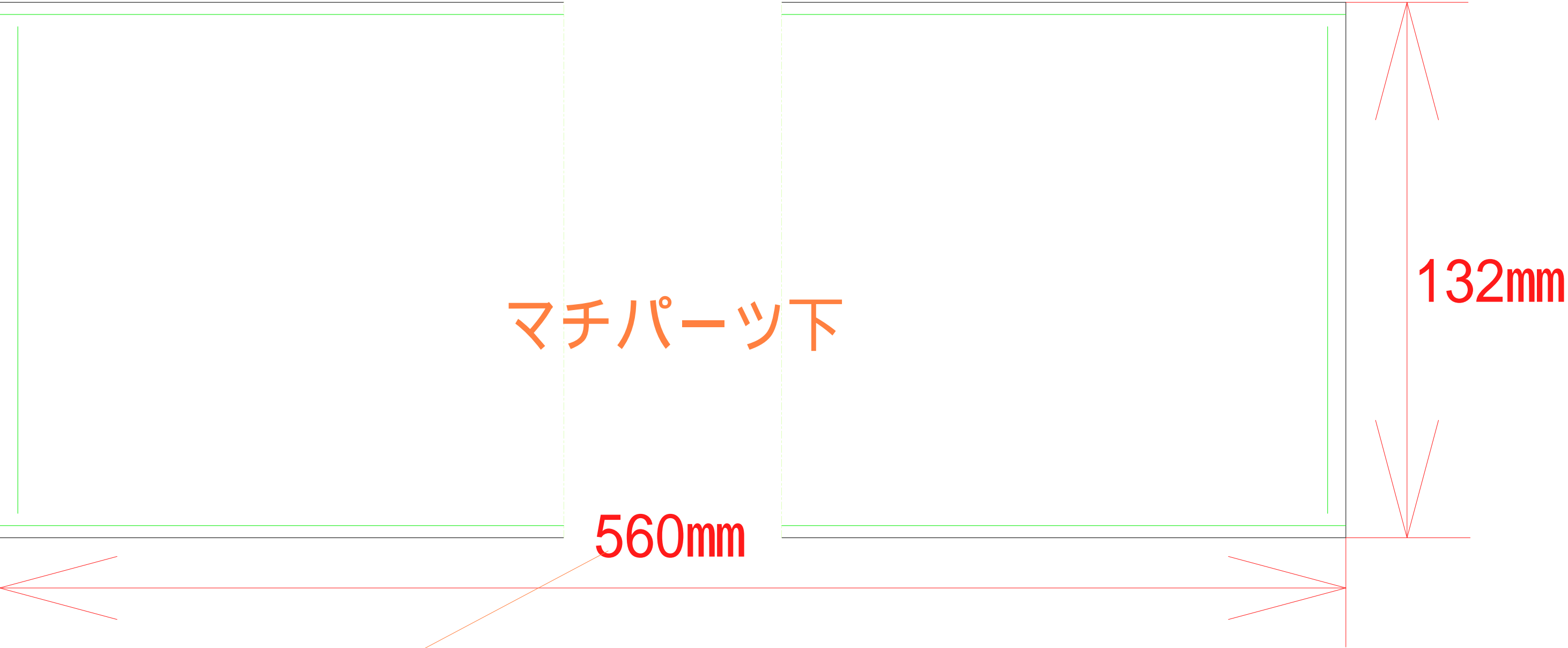
大きさ基準四角形
(5mm正方形)



マチパーツ下は単純な長方形のため、
中間部分を省略しています。
以下の寸法の長方形を革に直接罫書いてご利用ください。

用紙サイズ:A3
推奨厚さ1.5mm

大きさ基準四角形
(5mm正方形) 



正確に革を切る自信がない人はこの部分の寸法を少し長めにしておき、
後から出来高を見て調整することをお勧めします。
まずは600mmくらいにしておけば問題ないかと思います。

マチパーツ上は単純な長方形のため、
中間部分を省略しています。
両端のファスナーの位置に関してのみ
以下の型紙を参考に決めてください。

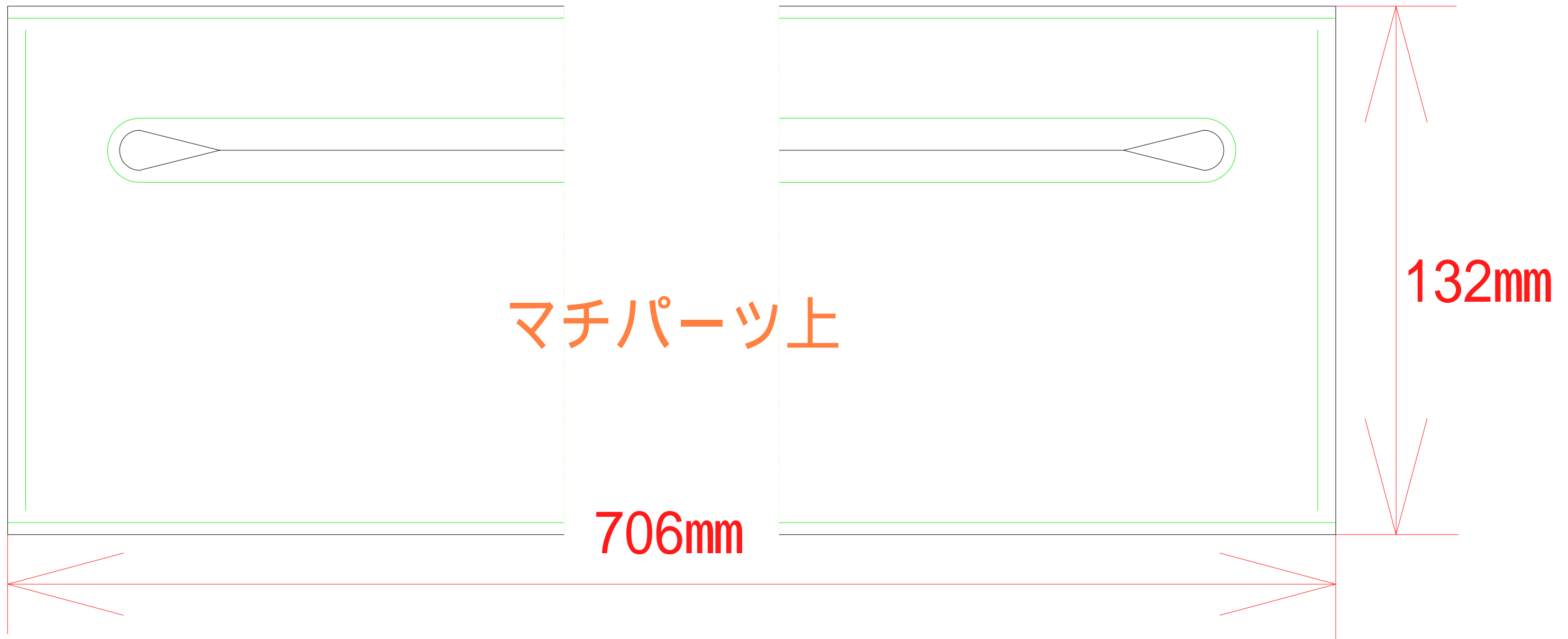
用紙サイズ:A3

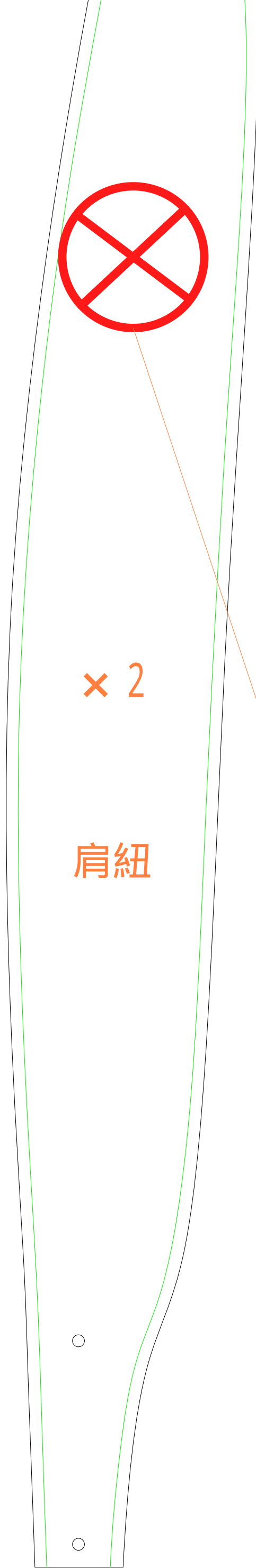
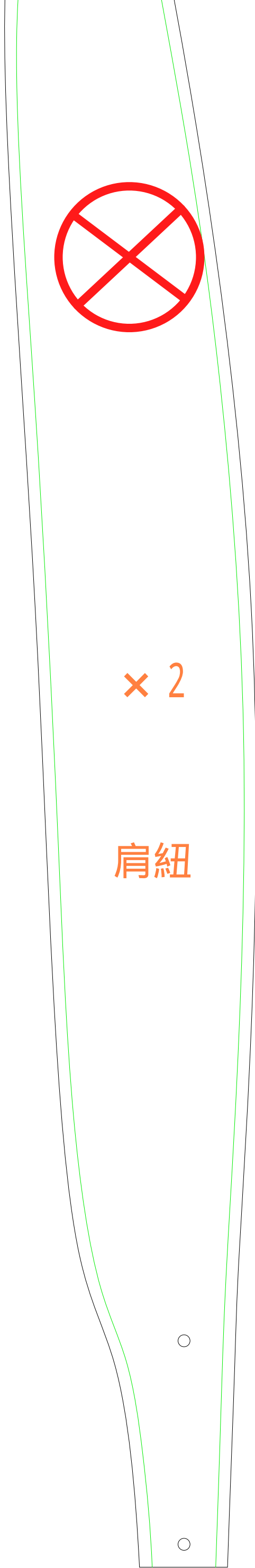
推奨厚さ1.5mm

大きさ基準四角形
(5mm正方形)



ファスナー部以外の形に関しては、
以下の寸法の長方形を革に直接罫書きます。





この印が
重なるようにして
型紙を組み合わせて
ご利用ください。

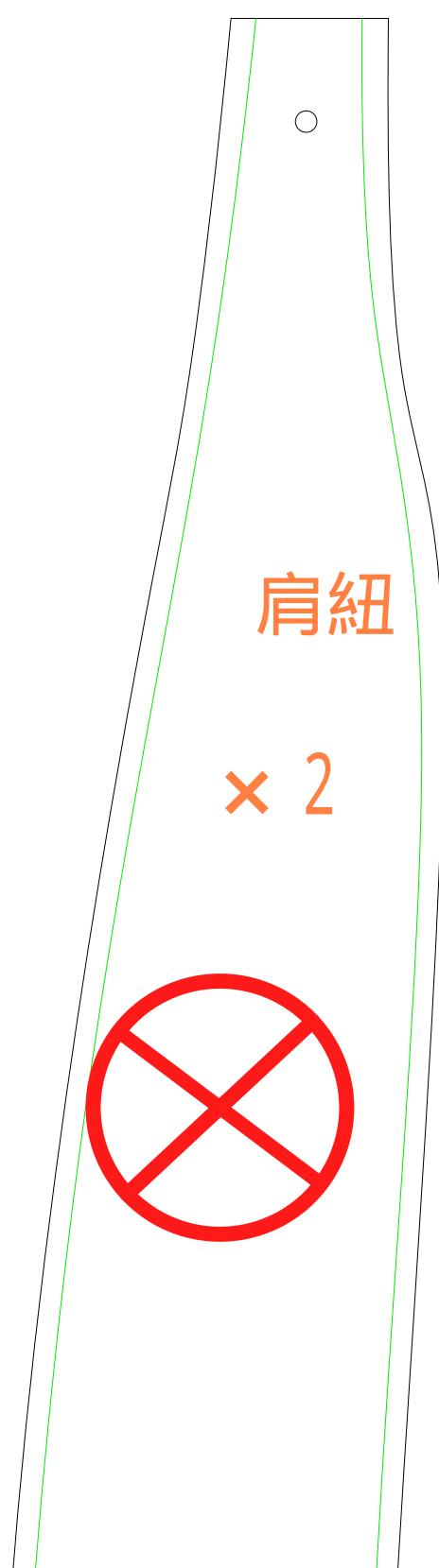
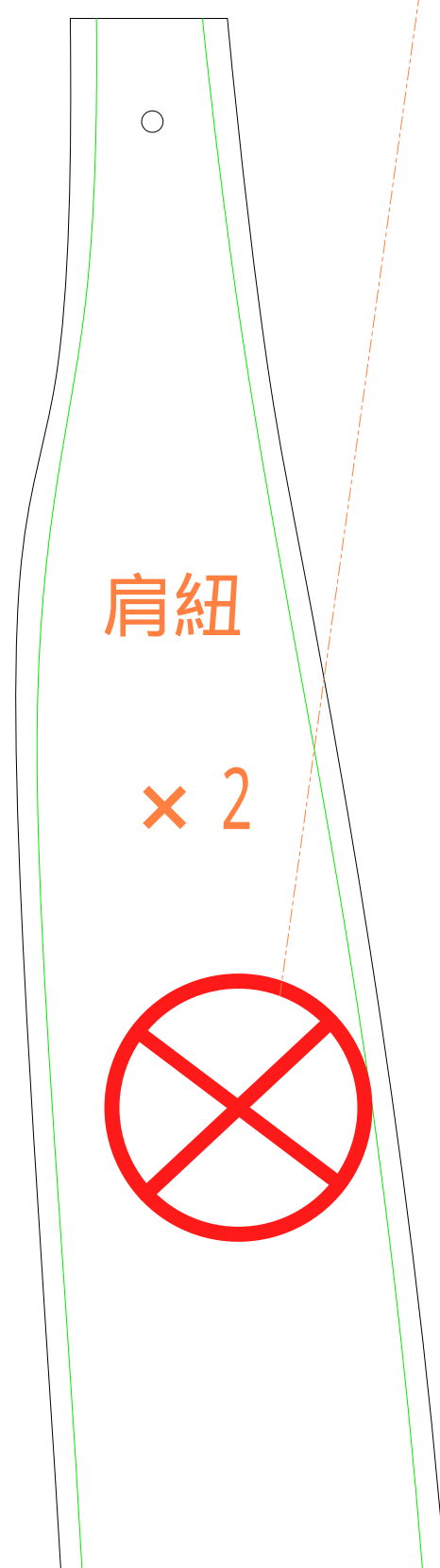
用紙サイズ:A3

推奨厚さ1.5mm

大きさ基準四角形
(5mm正方形)




この印が重なるようにして
型紙を組み合わせてご利用ください。



用紙サイズ:A3

推奨厚さ1.5mm

大きさ基準四角形 (5mm正方形) 

ポケット

× 2
背面パーツ

背面パーツ
× 2

× 2

× 4

接続パーツ下

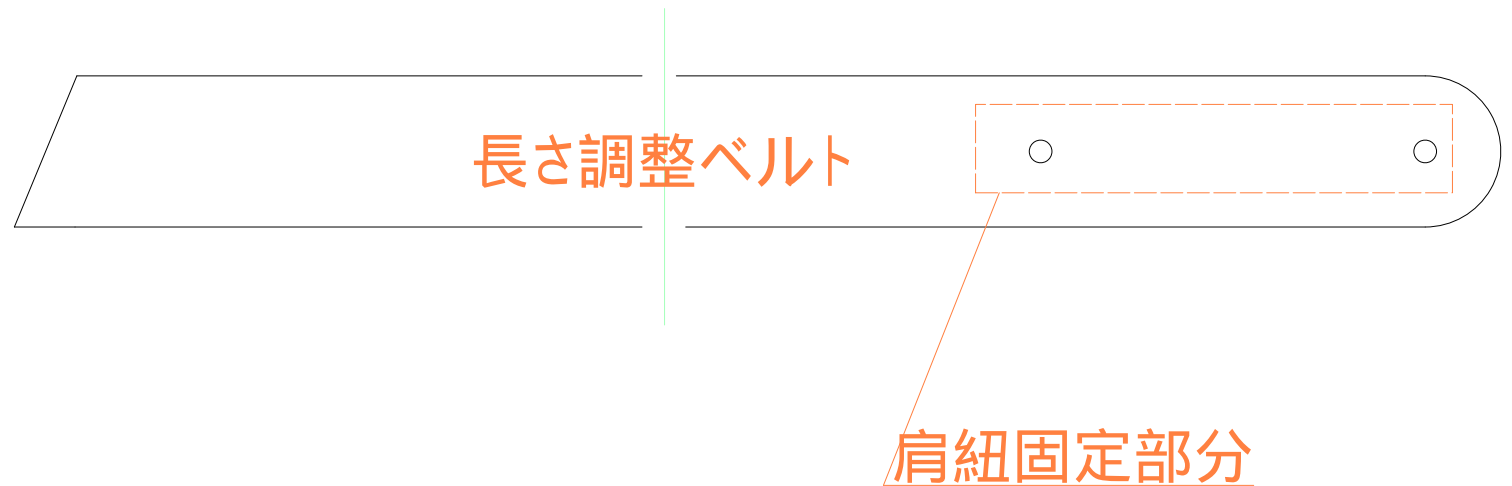
接続パーツ上

用紙サイズ:A3

推奨厚さ1.5mm

大きさ基準四角形
(5mm正方形)





長さ調整ベルトに関しては、お好みの長さにて調整ください。
参考までに作品例では500mmになっております。

用紙サイズ: A4

推奨厚さ2mm

大きさ基準四角形
(5mm正方形)

